「恩智川流域府民の河川に対する意識と行動に関する調査」リサーチプラン

1. 調査の背景と目的

大阪府域には数多くの河川があり、府においても、様々な美化活動に取組んでいる。恩智川は平成25年度以降、流域市（柏原市・八尾市・東大阪市・大東市）と流域府民、関係団体とが連携して河川の美化・啓発活動を推進しているが、流域によってごみの浮遊量が多い流域があるなど、課題は多い。本調査において、流域府民の恩智川をはじめとする河川やまちに対する意識や行動を把握し、今後のそれらの美化に向けた効果的な広報・啓発手法の検討に活かす。

1. 調査仮説

仮説１　性年代、物理的距離、普段の関り方や認識等によって恩智川の美化活動への積極性に差がある

仮説２　住んでいる河川流域（上流・下流）によって、恩智川の変化の感じ方に差がある

1. 調査対象　八尾市、大東市、柏原市、東大阪在住の府民1,000サンプル　（各市250目標）

　　　　　※ただし、4～５年前からの住人

1. 質問項目

予備質問５問

本質問２１問

【予備質問】

ＳＣ１　性別

ＳＣ２　年齢

ＳＣ３　住居（都道府県）

ＳＣ４　住居（市町村）

ＳＣ５　4～5年前から住んでいるか

【本質問】

1. ６河川のうち知っているもの（ＭＡ）

（Ｑ２～Ｑ７：Ｑ１で知っていると回答した河川で表組）

1. 親しみやすさを感じるか（表組）
2. 水は澄んでいると思うか（表組）
3. ゴミの量は気になるか（表組）
4. においは気になるか（表組）
5. ゴミを河川に捨てる人を見かけることがあるか（表組）
6. 豊かな自然を感じるか（表組）
7. 【恩智川を選択した人】恩智川について、４～5年前と比べてどう感じているか（表組）【そう思う、ややそう思う、変わらない、あまりそう思わない、そう思わない、わからない】
8. 親しみやすくなったか
9. 水はきれいになったか
10. ごみの量が減ったか
11. においが減った（なくなった）か
12. ごみを捨てる人が減った（見かけなくなった）か
13. 自然が豊かになったか
14. 恩智川との距離(SA)
15. 恩智川の訪問頻度(SA)
16. 恩智川で河川美化活動が行われていることを知っているか(ＳＡ)
17. 【知っている】認知媒体(MA)
18. 【知っている】美化活動への参加の有無(SA)
19. 【参加無】理由(MA)
20. 【知らない】恩智川美化活動の情報を欲しいと思うか(ＳＡ)
21. 【欲しい・どちらとも】どういう手段なら情報を得やすいか（MA）３つ
22. ご家庭もしくは職場で河川美化を意識して取組ませていること(ＭＡ)
23. 今後河川美化のどういった取組であれば参加したいと思うか（ＭＡ）
24. これまでのボランティア経験(MA)
25. 生活における（一般的に）河川の位置づけ(SA)
26. 休日は公園や河川敷で過ごすことがあるか（ＳＡ）
27. 検証方法

仮説１　性年代、Q９、10×Ｑ11、13、15

仮説２　居住地（市）×Ｑ８